

第53回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会開催ご案内

総会開催にあたって

会長 田中 淳司
(東京女子医科大学血液内科)

会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、2020年（令和2年）1月25日（土）、26日（日）の両日、東京におきまして、第53回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

日本無菌生物ノートバイオロジー学会（Japanese Association of Germfree Life and Gnotobiology: JAGG）は1968年に設立され、半世紀以上にわたって無菌生物学・ノートバイオロジー（Gnotobiology）という視点で、医学、理学、農学、薬学、歯学、栄養学、獣医学、繊維学など多彩な領域の報告が積み重ねられてきました。本学会の特徴は、基礎と臨床の研究者が一堂に会して、自由なディスカッションを行うことであり、新しい令和の時代に向かって新たな飛躍が期待されています。

今回の総会では、令和の時代における無菌生物ノートバイオロジーを展望して、神谷茂理事長に「腸内細菌叢と宿主の健康・疾病」と題する理事長講演をお願いするとともに、シンポジウム2題、一般演題、イブニングセミナーから構成いたしました。会員の皆様には奮ってご参加いただき、多くのご発表とご議論をいただけますようお願い申し上げます。

会 期 2020年（令和2年）1月25日（土）、26日（日）
会 場 東京女子医科大学弥生講堂
〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1
Tel 03-3353-8111（代）Fax 03-3353-8970
参 加 費 7,000円 学生会員 1,000円
懇 親 会 費 3,000円

日 程（一部変更の可能性あります）

会 場	1月25日（土）	1月26日（日）
弥生講堂	13:00- 開会の辞、総会 13:30-14:50 一般演題 14:50-15:50 理事長講演 16:00-17:30 シンポジウム I 17:30-18:20 イブニングセミナー	9:00-10:00 一般演題 10:10-11:40 シンポジウム II 11:40-12:00 佐々木正五賞授与 閉会の辞
同上	18:20-18:40 記念写真撮影	
総合外来センター「日比谷 松本楼」	18:40-20:30 懇親会	

理事長講演 「腸内細菌叢と宿主の健康・疾病」 杏林大学 神谷 茂先生
シンポジウム I 「造血細胞移植と感染症／GVHD」
シンポジウム II 「腸内環境と感染症」
イブニングセミナー

一般演題申し込み

- a. 対象 本学会会員
 一般演題の演者と共同発表者は本学会会員であることを要します。未入会の方は日本無菌生物ノートバイオロジー学会事務所へ入会の手続をしてください。無菌生物学・ノートバイオロジーに関する新しい知見を有する研究で未発表のものに限ります。
- b. 締め切り日 2019年（令和元年）10月31日（木）
- c. 申し込み方法 MS-Word で読み込み可能な文書ファイルで申し込み書を作成の上、E-mail に添付して、学会事務所 gnotobiolosaki@ks.kyorin-u.ac.jp へお送りください。
- d. 申し込み書 ①演題、②発表者（演者の前に○をつけてください）、③所属、④抄録、⑤英文演題、⑥英文発表者、⑦英文所属、⑧英文抄録、⑨演者 連絡先、氏名、生年月日、⑩ TEL、⑪ FAX、⑫ E-mail を明記してください。
 ①～⑧を「抄録集」B5版見ひらき2頁（和文と英文）に印刷します。
- e. 略語 本学会の会員構成は広範な領域にわたっています。略語（abbreviation）は初出のところに「略さない形」（full term）をお示しください。

例)

第52回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会一般演題申し込み書（2018年10月10日）	
①演題	<i>Helicobacter pylori</i> の自由生活性アメーバ共培養系における生存性の向上
②発表者	○北条 史*, 大崎 敬子**, 米澤 英雄**, 花輪 智子**, 蔵田 訓**, 山口 博之***, 神谷 茂***
③所属	(*杏林大学大学院医学研究科共同研究施設部門実験動物施設部門, **杏林大学医学部感染症学講座, ***北海道大学保健科学研究院病態解析学講座)
④抄録	(1,200字以内) I. 目的（または はじめに, 背景等） <i>Helicobacter pylori</i> は胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍の起因菌であり…… II. 材料（または対象）と方法 <i>A. castellanii</i> Neff 株は6-well マイクロプレートに…… III. 結果, 考察, 結論 共培養系をインキュベーターに静置して……
⑤英文演題	Survival of <i>Helicobacter pylori</i> in co-culture with <i>Acanthamoeba castellanii</i> and their expressions of bacterial genes
⑥英文発表者	○FUHITO HOJO*, TAKAKO OSAKI**, HIDEO YONEZAWA **, TOMOKO HANAWA **, SATOSHI KURATA **, HIROYUKI YAMAGUCHI *** and SHIGERU KAMIYA ***
⑦英文所属	*Institute of Laboratory Animals, Graduate School of Medicine, Kyorin University, Mitaka **Department of Infectious Diseases, Kyorin University School of Medicine, Mitaka ***Department of Medical Laboratory Science, Faculty of Health Science, Hokkaido University, Sapporo
⑧英文抄録	(250 words 以内) <i>Helicobacter pylori</i> is a causative agent for gastritis, gastric ulcers, and duodenal ulcers. Almost 50% of the world's population harbor this gram-negative microaerophilic bacteria...
⑨演者	連絡先, 氏名, 生年月日 〒181-8611 東京都三鷹市…… 杏林大学…… 北条 史 (19……年…月…日生)
⑩ TEL	0422-47-…… 内線……
⑪ FAX	0422-44-……
⑫ E-mail	……@ks.kyorin-u.ac.jp

演題の採否はご一任くださいますようお願い申し上げます。演題が採択されましたら、機関誌「無菌生物」のプロシーディングスとして掲載する原稿をご提出いただきます。詳しくはお申し込み後にご案内いたします。

日本無菌生物ノートバイオロジー学会事務所
 〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2
 杏林大学医学部感染症学講座 大崎敬子
 TEL 0422-47-5511 内線 3464 FAX 0422-44-7325
 E-mail gnotobiolosaki@ks.kyorin-u.ac.jp